



大分県 ブランドおおいた輸出促進協議会 『県産農林水産物をアジア、米国等へ』

【主な品目】

梨、かんしょ、牛肉、丸太、製材品、乾しいたけ、養殖ブリ、養殖クロマグロ 等

【主な輸出先国・地域】

アジア、米国、ヨーロッパ 等

【輸出取組の概要】

- ◆ ①輸出相手国の拡大、②輸出品目の拡大、③輸出している品目の取引量の拡大を3つの柱に、戦略的な海外展開に取り組む。

【輸出実績】

	輸出額(百万円)	出荷時期
令和2年度	2,892	通年
令和元年度	2,561	
平成30年度	2,456	

【取り組む際に生じた課題】

- 1 現地での販売力強化、ブランドの確立
- 2 コロナ下での販路開拓
- 3 輸出相手国のニーズや規制への対応

【生じた課題への対応】

- 1 現地飲食店や量販店等を拠点とした販促活動の実施
- 2 現地商社等との連携強化
- 3 GFPグローバル産地づくり推進事業等を活用した輸出産地づくり

【対応の結果】

- 1 県産農林水産物の輸出額増(対前年+331百万円)
- 2 おおいた農林水産物輸出サポーター等と連携した現地フェアの実施
ジェトロと連携したオンライン商談の実施 等
- 3 輸出先国のニーズに対応した生産・加工体制構築

【今後の課題・展望】

- 1 令和6年度の輸出目標額を57億円とする
- 2 商社や経済団体等との連携などによる、新たな輸出品目や輸出国の開拓
- 3 輸出にチャレンジする生産者・生産団体等の支援
- 4 マーケットインの輸出産地づくり推進



中国での大分県水産物フェア



海外バイヤーとのオンライン商談